



すすんで学ぶ子  
心豊かな子  
たくましい子

# 中宮

令和6年3月1日  
第662号  
枚方市立中宮小学校  
校長 池原 義人



## 3学期は準備の学期、3月は最終月です



### 参観・懇談ありがとうございました

2月8日・9日に授業参観と懇談を実施しました。これが本年度最後の参観となりましたが、両日ともにたくさんの保護者に来校いただき、児童の頑張りを見てもらうことができました。3学期の参観授業は、児童が調べたことや練習してきたことを発表する形式が多いです。1年生は、この1年間でできるようになったこととして、計算、コマ回し、鉄棒、なわとび、ピアノ、空手等を実演したり動画で発表したりしました。練習したことや学習したことはもちろんですが、入学当初ほとんどの児童が戸惑っていたタブレット操作の上達も目を見張るものがありました。日ごろの学習活動で、自然と上達していったのだと思います。1年生だけでなく他学年の保護者も、子ども達の努力の末の成長や、日々の生活の積み重ねから得られた成長に驚かれたのではないのでしょうか。



そこで、もう一步あゆみを進めてほしいです。

これまでもお伝えしていたと思います。3学期は、締めくくりの学期でもあるのですが、大切な準備の学期でもあります。6年生は、中学生になることに備える学期であり、他学年は一つ上の学年への準備を整える学期だと思っています。今は、幼稚園・保育園の園児たちも「幼保こ小架け橋プログラム」の基、小学校に訪問し行事や授業の見学、体験学習を行って備えています。本校にも複数の幼稚園、保育園から体験学習にやってきます。

中一ギャップはその典型例と言えますが、学年が一つ上がることは、子ども達にとって大きな変化です。環境が大きく変わってから徐々に慣れていくことは致し方ない過程だとは思いますが、考え方によっては「水の中に放り込めばいつか泳げるようになる」にも似た荒療治とも言えます。できることなら生活も学習も、なるべく早めに準備しておくことをお勧めします。もちろんすべての準備を整えることなど不可能です。できることから結構ですが、一番大切なのは気持ちの備えだと思います。学年によって方法も違ってくるとは思いますが、低学年であれば一つ上の学年の行事を追ってみる、その学年で学習する予定の漢字を見ておく等、簡単なことでよいので気持ちを次の学年へ導いてあげると効果的かなと思います。お子さんの様子を見ていただき、さじ加減を考えていただきながら、その子にあった方法での準備、お願いします。

### 「心をひとつに」

6年生は卒業まであと数日となりました。各学年、6年生の卒業を祝い、送り出す準備が始まっています。1~4年生は、6年生を送る会(3/8)の準備として、歌の練習や贈る言葉の練習を始めています。5年生は式典最大のわき役、在校生代表としての練習を始めています。もちろん6年生は、それぞれの主役としての準備になります。

先日、枚方市教育委員会から教育推進プランナー 田口秀男先生に来校いただき、歌唱指導を受けました。田口先生は音楽の専門家であり、6月の合同音楽会のときにも4年生の指導をお願いしました。何十校もの学校を回られて、歌唱指導をされているのですが、行った先で技術的な指導について聞かれることが多いそうです。しかし、そうではなく「心をひとつに」することが大事、それがいちばん難しいことだが、それができれば歌声を合わせるなど簡単なことだと仰います。今回のご指導の中でも、子ども達に教師達に、そのことを訴えられていました。

では、どうやって心をひとつにするのか、それには同じ目標を持たなければなりません。ぼくはやりたくない、わたしはこうやりたい、オレの価値観はこうなんだと各々がいろいろな方向を向いては、ひとつになるわけがありません。感動のフィナーレに向け、「心をひとつに」してほしいと思っています。

学校も同じことで、必ず年度当初に本年度の方針を示します。学校の教育目標はこうで、それについての課題はこう、これを克服し目標を達成するためにこの方法をとりますと、校長としての学校運営方針を伝えます。保護者に対しては、学校の教育計画を作成して公開したり、ブログや校長通信でお伝えしたりします。

本年度の学校教育目標は「次代を担う心豊かな子どもの育成」、そして重点課題として「学力の向上」、そのベースとして「挨拶・掃除・時間を守る」を教師率先垂範で取り組んできました。本年度あと残り少しですが、最後まで当初の方針を見失うことなく「心をひとつに」して頑張ります。

### 校内研究授業(市内公開)

2月2日に市内公開対象の校内研究授業を実施しました。この授業では算数の学習をしましたが、予め家庭学習において本時で扱う図形についての課題に取り組みました。その学習を基に授業を進めていくという反転授業(反転学習)の形態をとりました。

これは、家庭で予めの学習に取り組むことによって、授業時間内の友達との交流時間を確保し学びを深めたり、事前に理解できなかった点を把握して学習に臨めたりといった利点があります。貴重な授業時間を、有効に使うことができるのです。ただ、それは家庭学習にしっかり取り組んでいるということが大前提の利点です。

反転授業(反転学習)、本校の課題を克服するために必須だと考えています。今まで以上に家庭学習が重要になってきます。保護者の皆さまのご理解とお力添え、よろしくお願いします。

